

刊夕 日七十月八

# 常警毎日新聞

定価 一月五元 半年二十五元 一年五十元  
発行所 常警毎日新聞社  
印刷所 常警毎日新聞社

## 廻れ後生車

逝きし英一のため

植頭憲太郎

【三】

英一は凡ての幸福は、この乳にあるが如くに、かちり付くのです。のみましたのみました。しかも笑ひ顔さへ浮かべて、息をつき合はせぬ程な悦びに浸り乍ら吸ふ見を見詰める親心を御想像下さい。——しかも、これが『さよなら』を告げる前提であると思ひ乍ら見守る私共を

それからの英一は、安らかなものでした。深寝入りも出来ぬながらも、すやくとしておりましたが、夕刻吐血して終ひました。俗

## ノート

日本一大きい蚊帳

といはれるのは横須賀の海軍下士官集會所にある百疊敷のも、の天井は数條の針金に取りつけてある。に云ふ「スス水を吐いた病人は助からぬ」と、決定的に押し付けられた私共は、最早如何とも、取るべきすべを知らなかつたのでした。二回程の吐血の後、目

は半開となり昏睡状態に入りましたが、翌二日の朝の朝らかさ、明け行く空と共に、二階より、もれる、ウマノと云ふ聲、ウマイと返事をする高聲は、御近所の方々も「あれ程に元氣な聲であるものを」と驚かせたものです。故意か偶然か、鳥が二三羽、南より北の方へ飛び去りました。が、カア、との鳴き聲も、今日許りは不吉なと思ふ程でした。かくして明けたこの七月二日こそ、私共には永久に忘れ得ない日とはなつたのでした。——いや、あまりにも、惨しい烙印を刻み付けられた日とはなつたのでした。如何に死の宣告を受けて居たにせよ、生きてゐる間は、張り合ひのあるものです。心太くして少なうとも、樂觀的な氣分を持つてはせ得るものですね、これもあとから考へられた氣持ちですが世間では、往々々々、お医者さんから見離された患者が、再生したとの話を度々、きかされてゐた私共は、何んとか、丈夫になること、そして又、人間は、そんなに簡単に死ぬるものではないと思ふてゐたのでした。丁度午後の八時頃でし

た。静かに寝入つて呼べば、眼を開く程度のものでつたのでしたが、これが、臨終だつたのです三十分程過ぎた八時半には、眼が見えなくなりましたが聴覺は、完全に保たれてゐた様でした。——私共の親、兄弟姉妹御近所の方々に、枕

★0000000000★  
○明日の献立○  
◎0000000000◎

【朝】味噌汁 玉菜 小付  
いんげん豆

【書】ポーランドエツ  
トースト 紅茶

【晚】玉菜まき 豆腐 海老 酢の物 おろし芋 もみのり

邊近く御見取り下された中に、英一は安らかなものでした。——

まつこの水とでも申しませうか、含ませ様とした時に、口を閉じて吸ふともせずにあるのです。私は、耳に近々と口寄せて、『英一よ、これが、お前の親としての私が、お前に差上げる最後のものだ。英一、心して成佛してくれ、そして安らかに、遙かに真直ぐに逝つてくれ、英一よ、お前一人を旅立たせるも、親としての私の罪であることを容してくれよ英一よ。凡ては

清らかにして、逝つてくれ。いものであつた。併し、お思へば、お前の一生は短か。別の責任は重かつた。

コロンビヤ 新製品 蓄音器とポータブル 金貳十五圓

レコードはコロンビヤの平盆踊り

其他新譜澤山あります 平町五丁目(電一九五番)

金光堂時計店

御位牌と品よく佛壇佛具 安

橋本屋 平新川町 電一六三

体温計の検査日です

10日 検査新 お宅の体温計は?

◎確な体温計を御使用下さい  
◎毎月十日の検査日を御用下さい  
計量器 指定販賣人 西村屋薬局 平・二 電三番

株式賣買

合資三共商事 大町 電話三〇番

◎最も理想的な相互扶助機關◎

融資御希望の方へは  
十銭の日掛をなし三十日以上掛金をすれば九十圓の御用立を致します  
五分以上の割戻分配を致します

石城中小商工互融會 福島縣平町橋本小路一番地



頭痛て不快の方

フタバの磁器 平町中仲町(電一九三番)

# 地下採掘の可否

## 野崎滿藏君に與ふ

川崎 文治

野崎尊兄  
君は公開文の序書に、過去に於ける平町の諸懸案の實例なるものを掲げた、是れは君の地下採掘の意見を有利に導く前提として殊更らに述べたものであるから多くは君獨得の勝手な解釋であり、勿論首肯し難きものである、而し、是れは問題外であるから此處には問はない。ただ其中に、君が部長たる市制施行調査會産業資源部の委員八名の一致した意見として

「平町の資源は、炭礦によるか、温泉によるか、小名濱商港を利用するかの方法以外、發見されぬ」とに決し九州視察に赴いたと云ふが、是れは恐らく君一人の感想であつて「委員八名の一致した意見」とは付けたらであらう、君を除く七名の委員は苦笑禁じ難きものありと思ふ。何故となれば平町の資源を探究するに、その視野が餘りに偏狭であるからだ、君が擧げた三要目以外に、平町の資源開發の途が發見されぬとは何を云ふか。

それ町民が満足すると思ふか、到底正氣の沙汰とは受け取り難いのである。若し眞に此れ以外に發見出來ぬとすれば、君はその職

の給料を満足に拂ひぬ役場さへあるに至つては慘また極れりと云ふべきである。

野崎尊兄  
營利會社の炭礦には限りがあるが、自治体は永久無限だ、然るに無限大の自治体が、限りある炭礦に寄生して、その進展を策せんとする他力本願的の目論見なるものは、是れとりも直さず自治体が炭礦と運命を共にするといふ事であつて、百年の大計を樹立する所以でない。平町市制實現の根底も此處にある、若し炭礦にのみ頼つて、平町が甘夢を食ふものとすれば、炭礦絶滅の後には平町は、再び起つ能はざる創痍を覺悟せねばならぬ、それでは大變だ故に今、平町は自力を以つ

て躍進し得る方途を構はずべく、各般の部門を總動員して、調査研究に腐心しつゝあるのではないが、然るに肝腎な産業資源を擔任し而もその部長に推されて居る君が「炭礦、温泉、商港利用」以外に平町の資源涵養が發見されぬとは何事だ。(續)

平町聯合書道會主催の全國書道展覽會は待望裡に今十七日より平第二小學校で開催された五彩の華テープ鮮やかに飾られた三校舎十三教室は

定刻に、共に集めて觀覽者に埋り筆研を競ふ全國小學校兒童の力作に先づ讚嘆し更に中等部一般部等を一巡、各流の奥義を極めた名筆は觀る者の足を留め参考品部は各地名家秘藏の西郷南洲 乃木希典 東郷平八郎 藤田東湖 大石瀨左衛門 木戸孝允 佐久間象山 細井廣澤 貫名松翁 頼山陽 大町桂月 市川米庵

の名筆及現代諸大家の作品を網羅し

人氣を博してゐる一方講堂に開かれた講習會は午前九時より青沼會頭の開辭、常陸幹事の経過報告あつて講師松本芳翠氏の講演あつて講習に入りまづ書道入門研究法より懇切な指導を開始したが會員約

五百名で頗る盛況を呈した、尙同展覽會の審査の結果名譽の入賞者左の如く一般半紙部は審査未了の爲め追て發表されると因に同催しは十九日迄繼續される

一般部條幅  
△天位(知事賞)東京宇佐美香鶴(一等)清水兼高壽閣(二等)名古屋鈴木君碩(褒狀)清水杉山春葉 香

川崎巡 回文庫 電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

# けふ書道展

## 觀覽者殺到し 盛況豫想以上

### 十九日迄繼續催さる

人氣を博してゐる一方講堂に開かれた講習會は午前九時より青沼會頭の開辭、常陸幹事の経過報告あつて講師松本芳翠氏の講演あつて講習に入りまづ書道入門研究法より懇切な指導を開始したが會員約

五百名で頗る盛況を呈した、尙同展覽會の審査の結果名譽の入賞者左の如く一般半紙部は審査未了の爲め追て發表されると因に同催しは十九日迄繼續される

一般部條幅  
△天位(知事賞)東京宇佐美香鶴(一等)清水兼高壽閣(二等)名古屋鈴木君碩(褒狀)清水杉山春葉 香

川崎巡 回文庫 電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

新潟青橋流水 勿來前崎 二脇 勿來重本秀峰 平町佐々木静堂 名古屋永谷閑霞 東京及川東岱 東京川俣滴翠 木戸脇津秀石 今治大宮霞仙 東京今井妙光 東京濱田義成 東京尾崎雲林

小學校條幅  
(東聯會頭賞)大津市原淳 (一等)大津鈴木喜久男 (二等)平瀧遠藤鐵之助 東京木村圭子(三等)身延南部藤邦 平第二鈴木知恵子 平第一三井隆夫

中等條幅  
(聯合會頭賞)岐阜商業關谷善亮(一等)三重四日市高女山田睦子(二等)同福生まき子(三等)東京橋本翠汀

中等半紙部  
(一等)栃木大田原中藤田賢治(二等)愛知小出陸(三等)東京阿部朝華

小學半紙部  
△郡外入賞(一等)大津鈴木喜久男(二等)東京藤正治 東京芳野静喜(三等)愛知宇佐美和男 保原佐々木ヨシ 東京松林トシ子

△郡内入賞(一等)平第二近藤シヅイ(二等)箱崎純好間吉川慶(三等)平第一川崎繼男 平第二千葉怜子 平第二渡邊茂子

磐中競泳  
惜くも第二位  
二高主催第五回關北及以北海道中等學校球泳大會に

一場の代金  
御希望通りな  
五冊の雑誌が  
自由に讀める

川崎巡 回文庫 電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

世界館 江川宇禮雄 川崎弘子主演「嬉しい頃」林長二郎 井上久榮主演「初陣」阪東妻三郎二役主演「阿彌陀時雨」一十銭

結婚 姻  
△紺屋町 當時大連市橋磨町六八草野邦三氏(四六) 東京市目黒區月光町長田やよひ(三六)

回死  
△長橋町 川崎キヲ(八〇)さん

△月見町 當時大阪市此花區玉川町二丁目根本シゲ(七二)さん

△紺屋町 當時大連市橋磨町六八草野邦三氏(四六) 東京市目黒區月光町長田やよひ(三六)

△月見町 當時大阪市此花區玉川町二丁目根本シゲ(七二)さん

△紺屋町 當時大連市橋磨町六八草野邦三氏(四六) 東京市目黒區月光町長田やよひ(三六)

△月見町 當時大阪市此花區玉川町二丁目根本シゲ(七二)さん

# 情死を

## 前に捕はる

### 店員崩れと駈落藝妓

昨報平磯町から情死の遺書を發して行衛を晦した平町銀治町藝妓屋玉川家方抱へ藝妓喜代治事高田キヨ(三)と情夫の富山縣西礪波郡石動町二七佑一郎次男土井茂一(三)の兩名は十五日朝平磯町肴屋旅館事磯崎宗十方に宿泊中を湊署員が發見本署に同行保護を加へて居るが男は大倉高商の専修科を

# 立志傳中の

## 色川氏逝く

### ベルトに捲かれ 左胸部其他切斷

平町才植小路色川木材株式會社社長色川勝三郎氏は昨十六日午後四時半自宅裏製材工場で裁斷機の修理を終へ試運轉中誤つて大型鋸のベルトに捲き込まれ直ちに職工がスイツチを切つたが既に左腕及び左胸部を切斷されて應急手當の効なく十分後に逝去した享年四十九、同氏は茨城縣北相馬郡取手町出身で一材木店員から成功し十數萬圓を築く立志傳中の人で現に才植小路區長平町茨城縣人會副會長として今後の活躍を期待されて

# 朝鮮人に

## 誘惑されて

好間村大字上好間字楡木平居住日雇長松の妻島野キタ子(三)は去月中夫が平町に出稼中上好間の松田飯場に働いて居た日本名山本源八(五)と云ふ朝鮮人の甘言に

乗つて誘拐され長男徳治(八)次男肇(五)の子供を連れて行衛不明となつた爲め夫から本十七日警署に捜査方願ひ出た

# 農事講演會

好間、神谷兩青年團は明十八日午後二時より各小學校で農事講演會を催すが講師は柴田郡農技手及び吉成駐在技術員の兩氏である

# 郡内唱歌研究

郡内唱歌研究會員の第三回委員會は明十八日より三日間平第一小學校に開き縣大會提

# 鮫川新橋は郡下一

## 豫算三十萬圓を投じ

### 一部を鐵橋に

既報植田一錦間國道の鮫川橋架替工事は本縣土木課が既に設計を終り此程平土木監督所に回送し來たが夫れに依ると豫算は三十萬圓で橋の長さ四百米うち六十米は鐵橋残り三百四十米を鐵骨コンクリートとし幅員七

# 納税觀念向上に

## 町村長を招集して協議

### 平稅務署主催

平稅務署は管内長村の納税思想普及の爲め毎年町村係吏員を招集して奮勵しつゝあつたが更に徹底を圖る爲め來る廿一日午前十時から納税に關する町村長協議會を稅務署樓上に開き左記案

### 明日のラジオ

十八日

- #### 今晚の部
- 後六、〇〇 子供の時間 子供の音楽會 本多信子 相原智恵子 星出いと子
  - 後六、二五 講演と實演 「小鳥の話とその啼聲」商田昂高田兵太郎
  - 後七、三〇 子供と家庭の夕ピアノ獨奏金澤益孝
- #### 明日の部
- 後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

# 濱通り軟式野球

## 十七チームの組合せ決定

既報日本軟式野球濱通り豫選大會に出場申込んだ十七チームの組合せ抽籤は昨十六日午後七時より九友ホールの主將會議の結果左の如く決定し試合は十八日午前八時より開始される

- #### (第一球場)
- 二丁目 湯本新瀧
  - 平沼友 綴探炭
  - 平土木不戦一勝
- #### (第二球場)
- 平遞友 鐵道T.S
  - 發電所 平鐵俱
- #### (平南球場)
- 湯本上町 城山
  - 球南 長橋
- #### (第三球場)

- 前六、三〇 ラヂオ体操 濱市中央公園グラウン
- 前八、五〇 第二十一回全國中等學校優勝野球大會 實況
- 前九、一〇 榮養料理 献立業養研究所
- 前九、三〇 子供の時間 吹奏陸軍戸山學校軍樂隊 指揮 岡田國一
- 前一〇、〇〇 日曜禮拜赤坂靈南坂日本組合キリスト教會より中繼
- 前一〇、四〇 講演「大塔宮護良親王を偲び奉りて」文學博士 渡邊世祐
- 後〇、五〇 滿洲より 大

- 連一講演「關東州公學堂教育に就て」大連火岡子公學堂長村上元吉童謡初等科第四學年韓樹英童話劇大國生命と因幡の白兔 高等一年生徒
- 後一、二〇 ラヂオレヴニスキートンスタロ松竹少女歌劇團
- 後二、一五 琵琶 護良親王高峰筑風
- 後二、四五 新日本音樂 尺八星田一山箏中村双葉
- 後六、〇〇 子供の時間 童話鐵道開通B.K.コードモ
- 後六、二五 産業ニュース
- 後七、三〇 水上競技實況 日米對抗神宮プール中繼

# 山内醫院

平町・田町 電話六九一番

### 父勝三郎儀十六日午後四時三十分死去致候間此段謹告仕候

追而葬儀は色川木材株式會社を以て來る十九日午後一時自宅出棺九品寺に於て告別式相營可申候

昭和十年八月十六日

親戚總代 男 色川光一  
友人總代 諸君 諸君





# 明治太平記

(上巻及上巻)

(作) 寺島征史

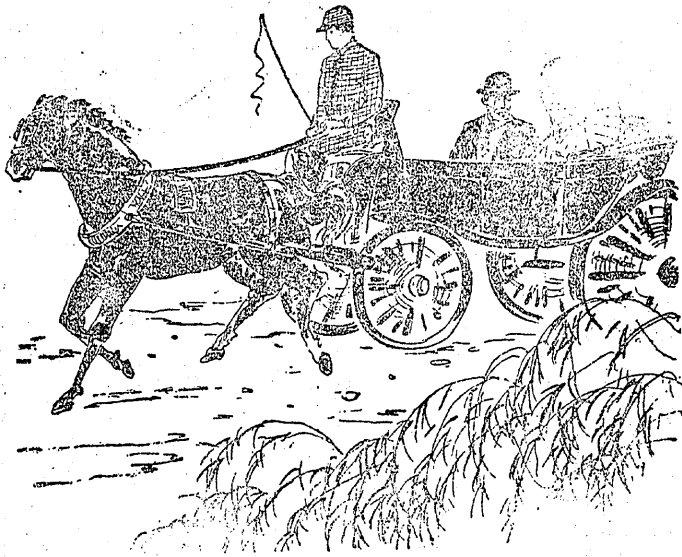
第二百二回

異人馬車 (一)

『日本が、野蠻國でせうか』  
『もちろん、日本は、南アフリカの蠻地と少しも變りません』  
『いえ』

『まづ、ロンドンの街についてみられるがよい。徒行と車行とを、樹木をへだて、その通路を異にし、行人絡繹として織るやうであるが、雑沓はしません。また路上は、たいてい煉石を敷き全街燦然一点の塵もみとめません……おふくしやんごらんしやい、東京銀座の街路には、大石小石が散在し、馬糞、人尿がいたるところに臭氣を放つてゐるではありませんか、しかも往來の人をみるがよい。南阿の野蠻人そのまゝに、半裸體の浴衣がけで歩いてをる。まことに醜狼のかぎりです』  
パークスは、眉をよせておふくは、口惜しさうに下くちびるを噛むた。  
『しかし、この野蠻國日本もやがて英國流に、文明の施設が布かれるだらう。す

なほちまづ政治を、軍事を教育を、建築を、みな英國流に改めるとき、つまり英國を唯一の指導者として追隨するがぎり、日本にも文明の光りが射します。東京銀座も、英京ロンドンのごとく美しくなります』



『日本が、お國の屬領となればせう』  
おふくの、怪しく光る眼が、チラとパークスの横顔を射た。  
『そのとほり……いや、すでに大藏省の顧問をしてゐる、英國人ウオルトレス君によつて、銀座改築の計劃

設計が進められてゐるからさやう、東京横濱間の蒸汽鐵道が開通するころは、このあたりも、多少變つてゐるでせう。みんな、日本人も、英國流に……』  
パークスは、會心の笑みを堪えて、銀座通りの舊態を一瞥した。  
そのとき、おふくの良順は、異人馬車を追ひ越して急ぎ足に歩いてゆく、一人のいなせな兄弟風の男に射るやうな眼をむけてゐた。  
異人馬車と、その男とはあとになり、先になり……いつか新橋も通り過ぎた。

舉動不審の男は、馬車のさきになりながらいちど振かへつた。  
その、怪しく光る双眼。青繪日傘の下、おふくの瞳にチラとふれた。  
——あ——  
おふくは、おもはず聲をあげるところだつた。

男は、そのまゝ、おふくたちに後をみせてずん／＼先をゆく。  
——大島小僧にちがひない。半五郎兄貴だ。  
おふくの良順は、大島小僧がなんのために、異人馬車の先になり、あとになりして、本街道をどこまでも一緒にゆくのかわかた。  
——裏切者のおれを、めつけたので、馬車から引ずりおろして、痛い目にあはさうといふのだらう。  
さうおもつた。大久保暗殺を引受けてをきながら、いまだにそれを果さずをる、おふくの良順を付視ふ

明治白浪五人男たちの氣持がよくわかる。  
『だんなさま』  
おふくは、あでやかな顔をパークスにむけた。  
『何で?』  
『あたし……』

と、口ごもる。パークスは、そのニツボンムスメのつゝまじさに、一倍の愛情をおぼえて……  
『……』  
黙つて、おふくの纖手を握つた。

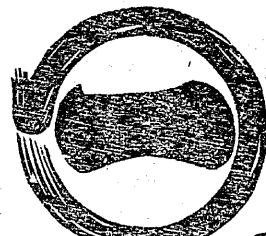
市原醫院

平町・田町  
電話一四四番

産名城磐

味美貝焼

しほから  
新鯉節大賣出し



魚問屋

店理代命生本日最大優最  
榮盛賀丁四平  
(三一二電)目丁

齒科口腔外科  
レントゲン科

平町土橋通り  
電話三一一番

原齒科醫院

院長 東京齒科 原 精一  
東京齒科 柏倉 武男  
醫學士

一、齒科一般  
一、口腔外科  
保存科補綴科 繼續架  
小兒齒科 齒槽膿漏科  
一、レントゲン科

中野齒科醫院

院長 日本齒科 中野 憲次  
醫學士  
日本齒科 西川 誠  
醫學士

耳鼻咽喉科専門

平町 (電話六九一番)

病室完備  
自炊便有  
山内醫院  
醫學士 山内 亨 吉

吸入用酸素純度 99%

度量衡

モノサシ  
マス  
ス  
ハカリ

器量計

體溫計  
寒暖計

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

關内藥局

電話四〇番

寫真材料一式販賣致シマス